



茨城の注目スポットと絶品グルメ

茨城県



首都圏の新しい空の玄関口、「茨城空港」。羽田・成田に次ぐ首都圏三番目の空港として、期待が高まっているほか、空港ターミナルビルへの来場者も七十万人に達するなど、新たな観光スポットとしても注目を集めています。

また、これからの寒い季節の茨城には、美味しい山海の幸が盛りだくさん。一度は食していただきたい、茨城のグルメも紹介します。

茨城空港

茨城空港は、日本で初めてLCC（ローコストキャリア・格安航空会社）の就航に対応した空港という新しいコンセプトで整備されており、空港ターミナルビルがコンパクトで、使いやすいのが特徴です。

駐車場（千三百台収容）はターミナルビルの目の前で、何日駐車しても無料です。また、空港とJR東京駅を結ぶ高速バスも

●神戸	●ソウル	●上海
スカイマーク 毎日運航	アジアナ航空 毎日運航	春秋航空 週3便 (月・水・土)
茨城 10:40 ↓ 神戸 12:05	茨城 13:00 ↓ 仁川 15:20	茨城 13:55 ↓ 上海 15:55
神戸 8:25 ↓ 茨城 9:40	仁川 10:00 ↓ 茨城 12:00	上海 8:55 ↓ 茨城 12:55



4	2	1
5		
6	3	

- 1.茨城空港から快適な空の旅を
- 2.間近に横付けされた旅客機にタラップを利用して搭乗
- 3.豪快な吊し切り
- 4.美食家のあこがれ、あんこう料理
- 5.ほしいもは繊維たっぷりのスローフード
- 6.自然の甘みは天日干しならではの

運行しており、航空機利用者は片道五百円で利用できます。現在、アジアナ航空のソウル便とスカイマーク社の神戸便が毎日就航しているほか、中国のLCCである春秋航空が同社初の国際線として、上海便を就航しています。

さらに、スカイマーク社では、新たな路線として、平成二十二年度内に札幌便及び名古屋便の開設を予定しており、茨城空港は首都圏の航空需要の一翼を担う空港としてその可能性を着実に広げています。

ほしいも

さつまいもを蒸しスライスして乾燥したほしいもは、生産量全国第一位を誇る茨城の冬の味覚です。

太平洋からの冷たい潮風を利用し天日で干しあげ、乾燥させることで甘みが増し豊富な栄養が凝縮されます。また、食物繊維やミネラルを効率よく摂取できることから、おやつとしてだけでなく、ヘルシー食品としても人気があります。

あんこう

常磐沖のあんこうは、「東のあんこう、西のふぐ」と称されるほどに茨城を代表する美味の王様です。

あんこう料理と言えば「吊し切り」。大きくて柔らかいため、まな板の上ではさばきにくいために考えられた、ダイナミックで独特な方法です。あんこうは捨てるのがないため、七つ道具と呼ばれる部位に分けられて調理されます。ヒレや皮はコラーゲンたっぷり。珍味として知られる肝はとも酢、あんこう鍋にと大活躍。濃厚で深い味は、海の恵みです。

〈問い合わせ先〉
茨城県知事公室広報広聴課
TEL 029-301-2128
HP <http://www.pref.ibaraki.jp/>